

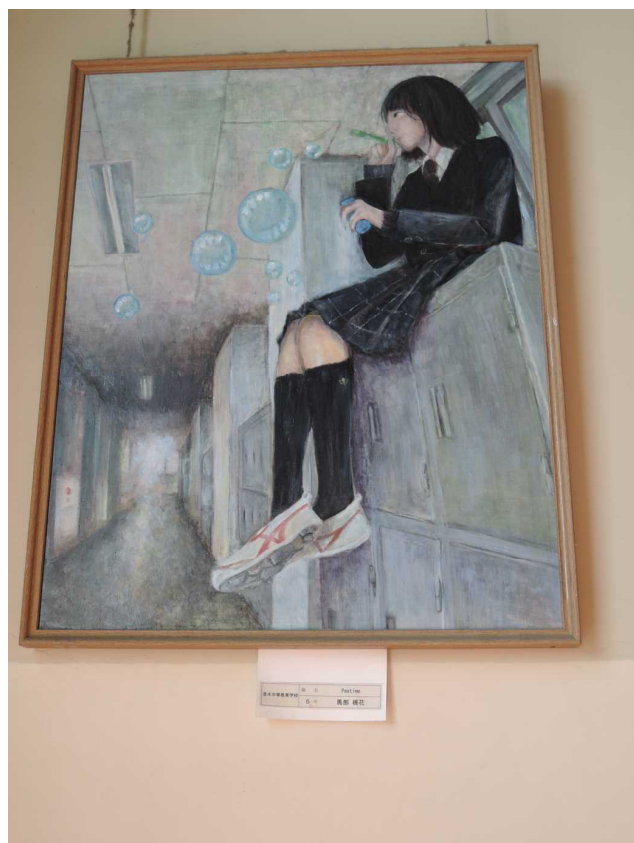


並木中等story

令和5年2月10日号

適当にやると適当な成績が?!

私が中学生の時の話です。美術の授業で教科書に載っている絵を模写するという授業がありました。生意気な私は、“教科書に載っている絵を描くなんて邪道だ。適当に描けばいいだろう”と思い、雑に仕上げて提出しました。その学期の美術の点数は90点以上でした。当然、美術の評定は4以上だと思ってました。しかし、実際の評定は2でした。私はびっくりして美術の先生に文句を言いに行きました。その時に言われた言葉が、「井坂は美術の根本のことが分かっていない。ペーパーテストは点を取れたが、美術を侮辱している。1を付けようと思ったくらいだ。美術には魂が必要なんだ。気持ちが込められてないといけないのだ。おまえの絵は“ただ描けばいい”と思って描いたのがよく分かる。だから2なのだ。」と言われました。適当に取り組んだことが分かってしまったのです。皆さんも「誰々はやる気がないな。」と友達の取り組みを評価することがあると思います。人は周りの人の取り組みの様子が分かってしまうものなのです。皆さんの取り組みはどうでしょうか。



《祝 全国総文祭東京大会自然科学・化学部門 奨励賞受賞！》

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会の自然科学部門化学部門において、5年次の三浦さんが奨励賞を受賞しました。

なお、三浦さんは日本植物学会第86回大会高校生研究ポスター発表においても優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。